

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 吉川博文・新村洋一・河野友宏・矢嶋俊介・喜田聡・林隆久・千葉桜拓・坂田洋一・川崎信治・
小川英彦・尾畑やよい・太治輝昭

◆学習・教育目標

学会等で口頭もしくはポスターによる研究発表を筆頭筆者として行うことを最終目的とした科目。要旨作成と投稿の指導から始まり、発表内容の指導、質疑応答練習をゼミ形式で行う。前後期開講とし、前・後期どちらか一方を履修できることにする。学会等において自分の研究内容を的確かつ分かり易く発表することは、研究者に必須の能力であるばかりでなく、中高生を含む一般社会に向けた情報発信にも重要であり、教員を目指す学生にも求められる能力である。そこで、本講義では、学会等における専門家集団と準専門家である科学者集団、また非専門家からなる一般社会に向けた、相手に応じた説明の仕方も教育する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

細胞分子機能学 環境生物機能科学 動物生命科学 分子生物学
遺伝学 遺伝子工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	学会要旨作成指導（第1～5週）	教員と相談して、各人が発表する学会を決定し、要旨作成を行い教員の添削指導を受ける。	学会要旨に目を通し、一般的な書き方について調べる。
2	研究経過報告会（第6～10週）	各自が行っている研究経過報告を通じてデータのプレゼンテーション法をゼミ形式で学ぶ。また、学部学生を対象とした発表を行い、専門知識の少ない相手に対する方法を学ぶ。	発表練習会に備えてパワーポイントを使った資料準備を行う。
3	学会発表練習会および学会発表（第11～15週）	学会発表に向けて最終的な練習会を行い、最終的に発表を行う。	学会に向けて準備を行う。

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
なし

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
なし

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

出席回数および質疑討論の回数により評価。学会発表をしたものだけが評価対象となる。

◆その他受講上の注意事項

本講義を履修する際には研究指導教員と事前に相談すること。